

I 病院報告の概況

1 在院患者数

令和3年の年間の在院患者延数は4,280,422人(前年4,378,888人)で、新入院患者数は107,854人(同105,833人)、退院患者数は108,083人(同106,288人)である。1日平均に換算して在院患者数を見ると11,727.2人(同11,964.2人)で、前年に比べ237.0人減少している。

一日平均在院患者数を病院の種類別にみると、一般病院では9,440.4人(総数の80.5%)で、前年の9,659.4人に比べ219.0人、精神科病院では2,286.7人(同19.5%)で前年の2,304.7人に比べ18.0人減少している。

また、これを病床の種類別にみると、一般病床では4,661.3人(総数の39.7%)で、前年の4,807.7人に比べ146.4人、精神病床では3,632.1人(同31.0%)で、前年の3,651.9人に比べ19.8人減少している。結核病床では、16.4人(同0.1%)で前年の17.2人に比べ0.8人減少している。

なお、療養病床では3,369.3人(総数の28.7%)で、前年の3,483.5人に比べ114.2人減少している。

2 外来患者数

令和3年の年間の外来患者延数は3,400,630人(前年3,400,971人)である。1日平均に換算すると患者数は9,316.8人(同9,292.3人)で、前年に比べ24.5人増加している。

一日平均外来患者数を病院の種類別にみると、一般病院では8,587.2人(総数の92.2%)で、前年の8,566.5人に比べ20.7人増加し、精神科病院では729.6人(同7.8%)で前年の725.8人に比べ3.8人増加している。

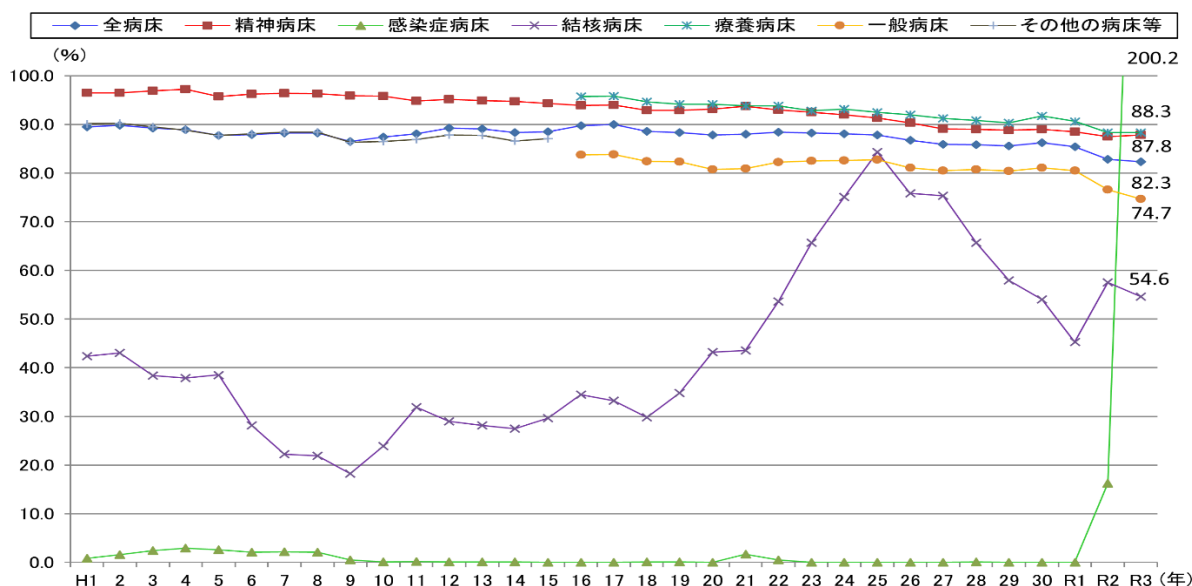
3 病床利用率

全病床における病床利用率は82.3%(前年82.8%)で、前年に比べ0.5ポイント減少している。

病床の種類別にみると、療養病床における病床利用率が88.3%(同88.3%)で高く、次いで精神病床が87.8%(同87.5%)となっている。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、感染症病床の利用率が200.2%(同16.2%)と著しく増加した。

保健所別では、杵藤保健所が87.4%と高く、佐賀中部保健所が78.6%と低くなっている。

図1 病床利用率の年次推移(佐賀県)



(注) その他の病床等は平成16年から療養病床と一般病床に分けて表示している。